

経営発達支援計画・事業評価委員会議事録

魚津商工会議所

経営発達支援計画に基づき実施した令和6年度事業について評価委員会を開催しましたので、その概要を下記の通り報告します。

- 日 時 令和7年9月26日（金）10：00～11：00
- 場 所 魚津商工会議所ビル 4階会議室
- 出 席 者 岩井 均 氏（岩井社会保険労務士事務所 代表） 委員長
松本 健 氏（税理士法人CFO 代表社員）
中陳 和人 氏（中陳和人中小企業診断士事務所 代表）
大崎 敏治（魚津商工会議所 専務理事）
石崎 茂晴（魚津商工会議所 事務局長）
事務局 石原相談所所長 他5名

令和6年度の経営発達支援事業の実施報告とそれに対する委員会の評価・検証結果がまとめましたのでご報告いたします。

●議 題

（1）令和6年度経営発達支援事業実施報告について

事務局より、地域経済の動向調査、経営分析、事業計画策定支援並びにフォローアップ、および新たな需要開拓に寄与する事業について、支援内容と件数について報告した。

地域経済の報告については、前年度との比較による増減理由を含めて詳細に説明した。新たな需要開拓に寄与する事業に関しては、東京での即売会および見本市への出店についてイベントの詳細、出店事業者の創意工夫、実績、および出店後の進捗状況などの詳細報告を行った。

（2）委員からの評価・検証（見直し案）

令和6年度実施事業の報告を踏まえ、各委員から事業の実施状況に対する評価と、今後の支援活動に対する意見・提言が述べられました。

- ・最低賃金引き上げと物価高騰への対応

最低賃金引き上げや物価高騰により、特に地元の飲食店などは厳しい状況が予想される。企業の売上、利益確保に繋がるような支援を強化して欲しい。

- ・販路拡大支援の対象拡大

即売会や見本市への出店支援は実績を上げているものの、小規模事業者に限定される面があるため、小売業やサービス業など厳しい面もあると思うが、

- より多様な業種が販路拡大に繋げられるよう支援を工夫して欲しい。
- ・見本市出展事業者は全国展開に対応できること、特色ある商品を製造販売していることを基準に選定していることを事務局から説明した。
 - ・国が推進する IT、デジタル、DXへの取り組みは中小企業にとってハードルが高いため、商工会議所が伴走して一緒に取り組んでいくことへの期待が述べられました。
 - ・研修、セミナーについて、講師の話が地方向けではない場合があるため、地方の実績に合った、より実践的な内容となるよう講師選定を徹底するよう要望があった。
 - ・事業承継に力をいれていくことを説明し、借入金や高齢化などの難しい問題にも粘り強く取り組んでいくことが激励されました。

(3) 令和7年度経営発達支援事業について

昨年度と同様に経済動向調査や事業計画策定支援などを継続的に実施する。新たな需要開拓支援を継続し東京都で開催される即売会や見本市に引き続き市内事業者と共に出店予定としていることを説明した。
現在、経営発達支援計画は5か年計画の3年目に入っており2年後には、新たな計画を作成し、今後も会員企業のために尽力したい。

以上

評価委員会

委員長 岩井 均